

平成24年8月1日

関係各位

愛媛大学地球深部ダイナミクス研究センター  
センター長 入 船 徹 男

愛媛大学地球深部ダイナミクス研究センター助教の公募について

愛媛大学地球深部ダイナミクス研究センターでは、センター専任教員を下記の要領で公募します。つきましては関係者にご周知いただきますようお願いいたします。

記

- 1 所属：①愛媛大学地球深部ダイナミクス研究センター 超高压合成部門  
②愛媛大学地球深部ダイナミクス研究センター 数値計算部門
- 2 職名及び人員： 助教（5年任期、着任後の業績により3年まで延長可）各1名
- 3 専門分野：①実験地球深部科学分野 ②数値地球深部科学分野
- 4 応募資格：
  - (1) 博士の学位を有する方、あるいは平成24年9月中に取得見込みの方
  - (2) ①超高压実験などの実験分野において研究業績を有し、地球深部科学や超高压物質科学の新たな展開に意欲的な方  
②第一原理計算などの数値計算分野において研究業績を有し、地球深部科学や超高压物質科学の新たな展開に意欲的な方
- 5 担当業務内容：
  - (1) 地球深部科学分野の先端的研究をおこなう。
  - (2) センター内外の研究者との共同研究を推進する。
  - (3) センター設置機器類の保守と共同利用者に対する取り扱い指導、その他センターの運営に関わる業務をおこなう。
  - (4) 愛媛大学における地球科学関連分野の教育を分担する。
- 6 採用予定： 採用決定後なるべく早い時期

7 公募締めきり：平成 24 年 9 月 28 日（当日消印有効）

8 提出書類：

- (1) 履歴書（写真添付、当方から連絡する場合の宛先、電話番号及びEメールアドレス記入）
- (2) 業績目録、研究業績のまとめ及び代表的論文5編までの別刷り（コピー可）
- (3) 現在までの研究内容の概要と着任後の研究・教育に関する抱負（それぞれA4で2枚以内）
- (4) これまでに獲得した研究助成金（名称、年度、課題名、金額、代表・分担別）
- (5) 応募者についてご意見をいただける方2名の名前と連絡先

なお、応募書類は原則として返却しません。提出していただいた個人情報は、教員任用業務、連絡、手続きのためにのみ使用し、選考終了後も適切に取り扱い、責任を持って破棄いたします。

9 面接：

書面審査により選出された候補者には、研究内容の概要と着任後の研究教育に関する抱負について、プレゼンテーションをお願いする予定です。ただし、旅費等の経費は自己負担とします。

10 書類提出先：

〒790-8577 松山市文京町2-5 愛媛大学地球深部ダイナミクス研究センター長入船徹男宛  
※封筒には「助教応募書類在中」と朱書きし、実験分野あるいは数値計算分野のいずれかを明記し書留等で送付すること。

11 問い合わせ先：

愛媛大学地球深部ダイナミクス研究センター長・超高压合成部門教授 入船徹男  
(TEL: 089-927-9645 FAX: 089-927-8167 E-mail: irifune@dpc.ehime-u.ac.jp)  
愛媛大学地球深部ダイナミクス研究センター・数値計算部門教授 土屋卓久  
(TEL: 089-927-8198 FAX: 089-927-8167 E-mail: takut@sci.ehime-u.ac.jp)

12 その他

- (1) 男女共同参画社会基本法の趣旨に配慮し、教員の選考を行います。
- (2) 個人情報保護のため、応募書類に記載された個人情報は、選考及び採用以外の目的には使用しません。また、応募の秘密は厳守します。なお、選考結果を愛媛大学ホームページで公表する際、採用候補者の氏名については公表させていただきます。
- (3) 公募による応募が5人以下の場合には、再公募する場合があります。

13 地球深部ダイナミクス研究センターの概要と構成：

地球深部ダイナミクス研究センターは理学部と工学部を母体として、平成13年4月1日に設置された学内共同研究教育施設です。本センターは下記に示す4つの部門からなり、地球深部関連科学分野の先端的研究の推進とともに、学際的・国際的研究活動の展開もめざしています。また、本センターの地球科学系教員は、下記の理工学研究科及び沿岸環境科学研究センターの地球科学系教員とともに、理学部の教育も分担しています。詳細は本センターのホームページ (<http://www.ehime-u.ac.jp/~grc/>) をご参照ください。

なお、本センターを中核としたグローバルCOEプログラム「先進的実験と理論による地球深部物質学拠点」（平成20年度～平成24年度）では、地球深部物質科学及び関連分野における若手研究者の育成にもあたっています。更に、本センターでは超高压科学分野での全国共同利用・共同研究拠点化を視野に入れ、平成25年度以降の認定を目指した申請の準備をおこなっています。

また愛媛大学では、平成20年度よりテニユアトラック制度に基づき、本センターを含む3つの先端的研究センターなどにおいて研究・教育をすすめる「上級研究員センター」、及びこれらの先端研究センターにおける技術開発や、研究・教育の支援を主要な業務とする「教育研究高度化支援室」を設置しています。

#### (参考)

地球深部ダイナミクス研究センター及び関連部局地球科学系教員（平成24年8月1日現在）

#### 超高压合成部門

入船徹男（教授）、大藤弘明（准教授）、丹下慶範（助教）、本公募（助教）

#### 数値計算部門

土屋卓久（教授）、亀山真典（准教授）、本公募（助教）

#### 物性計測部門

井上 徹（教授）、松影香子（准教授（COE））、木村正樹（助教）、境 毅（助教）

#### 量子ビーム応用部門

平井寿子（教授（COE））、八木健彦（教授（特命））、桑山靖弘（助教）

#### 理工学研究科・地球科学系教員

教授：川寄智佑（実験岩石学）、山本明彦（情報地球科学）、榑原正幸（岩石学）

准教授：森 寛志（隕石学）、岡本 隆（古生物学）、皆川鉄雄（鉱物学）、堀 利栄（地質層序学）

助教：楠橋 直（古生物学）

沿岸環境科学研究センター・地球科学系教員

教授：磯辺篤彦（海洋物理学）

准教授：郭 新宇（海洋物理学）

助教：板井啓明（環境地球化学）

上級研究員センター・地球深部ダイナミクス研究センター関連教員

上級研究員：西原 遊（高圧実験地球科学）

上級研究員：土屋 旬（鉱物物性理論）